



XSL FORMATTER

を利用した書籍の製作

株式会社 毎日コミュニケーションズ

丸山 篤

毎日コミュニケーションズ

<http://www.mycom.co.jp/>

- 設立 昭和48年（1973年）8月15日

- 主な事業

- (1) 新聞の発行及び出版事業

- 雑誌：PC fan、Mac fan、Web Designing、+DESIGNING、Linux fan など

- 新聞：週刊将棋

- 書籍：コンピュータ、将棋・囲碁・麻雀、新書、世界遺産検定、ロボット、女性、ゲーム など

- (2) 就職情報誌の提供、求人・採用活動に関するコンサルティング

- (3) 進学情報の提供

- (4) 広告業

- (5) インターネット等を利用した情報処理・情報提供サービス

- (6) 労働者派遣事業

など



毎日コミュニケーションズ

XSL Formatterを利用して 作成した書籍



「Office Open XML Formats入門」

著者：アンテナハウス株式会社

XSL Formatter グループ

B5変 320ページ 本体価格：3,200円

2007/9月 発行

書籍ができるまで

企画

- **書籍の仕様の決定**
主な内容、判型、ページ数、価格、著者、構成案、発行時期等

校正

- **ゲラチェック**
編集者および著者による校正
通常2~3回

執筆

- **まずサンプル原稿の執筆**
文体、レベルをチェックし、書籍の基本デザインを作成
- **本格的な執筆**

入稿

- **印刷所にデータを渡す**
印刷所の出力機による校正紙出力。それをチェック、データ修正の後、校了

編集・DTP

- **編集の後、DTP**
Quark Express、InDesignによるデザイン

印刷・製本

- **印刷所での印刷・製本**
- **取次搬入、書店へ**

各工程の概要

企画

編集者立案、編プロからの提案、著者からの提案の3パターン

- ・編集者自身が立案 → 著者アサイン、進捗管理、原稿整理は編集者が行う
- ・編プロからの提案 → 著者アサイン、進捗管理、原稿整理は編プロが行う
- ・著者からの提案 → 著者アサインは不要、進捗管理、原稿整理は編集者が行う

執筆

Word、プレーンテキストで行うケースがほとんど。

画面キャプチャは、BMP、TIFF、JPGなど

イラストは、Word、Excel、PowerPoint、手書きなど

→デザイナーがアドビ社のIllustratorで書き直す

編集・DTP

文章校正、事実確認したのち、原稿整理して、DTP業者に渡すデータを作成

- ・原稿整理 → DTP業者に渡すデータの作成。具体的には、誤字・脱字チェック、用語統一、見出し、本文、キャプションの区別。
原稿はテキストと画像に分ける。画像はEPSに変換。
- ・DTP → Mac環境で行う。QuarkExpressとInDesignがほとんど、最近はInDesignの比率が高くなりつつある。

校正

DTP作業を終えたゲラによる原稿チェック。著者および編集者（場合によっては編プロも）が行う。通常は2～3回。初校は、本文のみ。入稿前に、まえがき、目次、索引、奥付を作成

・

入稿

校正を終え、修正済みのDTPデータと最終ゲラをセットにして、印刷所に渡す。

色校

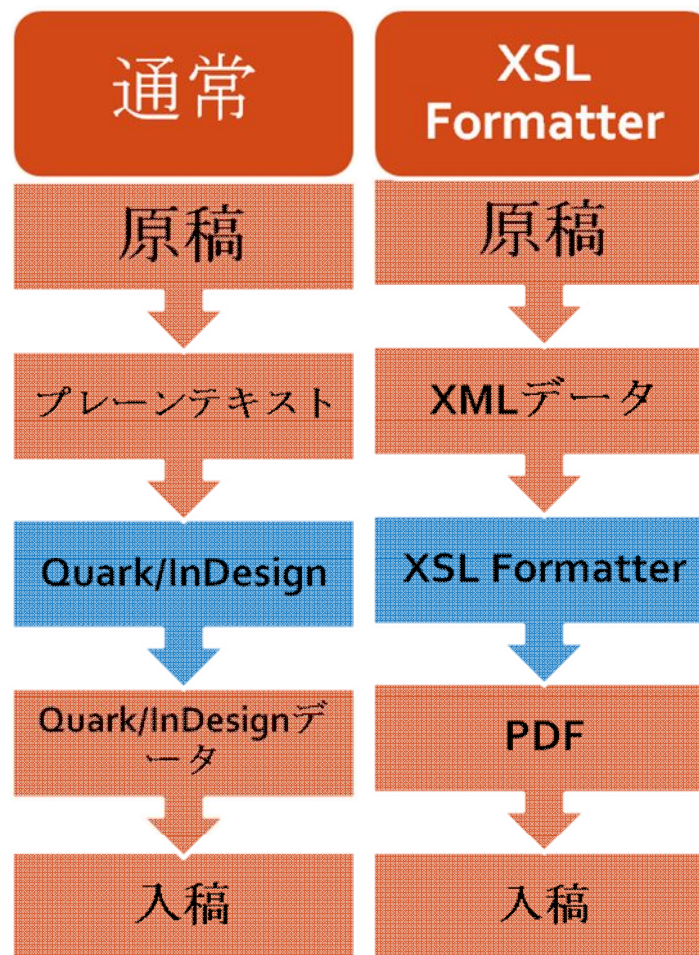
印刷所の出力機による校正紙が、2日ほどで出力される。ここで色味、文字等をチェックし、修正箇所があれば入稿データに修正を加え、印刷所に戻す。基本的に大きな修正はしない。これで、出版社側の作業は終了。

印刷・製本

印刷所での印刷、製本作業。入稿から2週間ほどで見本誌が完成する。

■ XSL Formatterで何が変わる？

XSL FormatterはDTP
作業に代わるもの



XSL Formatterを使うメリット

制作コストの大幅ダウンが可能

< 書籍制作にかかる直接経費 >

- ・印刷・製本代
- ・紙代
- ・著者印税
- ・カバー制作、DTP代 → ほぼ0円になる

ページの追加、削除による影響がない

- ・レイアウトが単純で、改訂が多い辞書系には有効

編集者が感じた不安

緊急時への対応

作業は、ツールの使い方をマスター人に限られるため、出版社印刷所での対応は不可能。

書籍デザインへの対応

どの程度細かなデザインが可能なのか？

イラストデータはどうするのか？

一括作成のため、修正ミスの発生が予想できない

本日はありがとうございました。